

星空のたより

2017年6月号
岐阜市科学館
岐阜市本荘 3456-41
Tel 058-272-1333

梅雨の時期だけど空に目を向けよう!!



太陽の運動が感じられる日時計!

科学館の入口付近に左の図にあるような日時計があるよ。この日時計は中央の線を跨ぎ、足元に刻まれた日付から割り出した観察する日付通りに靴のつま先を合わせて立つと、自分自身の影がそのときの時刻を示すんだ。ところで、なぜ観察するときによって立つ位置が違ってくるのだろう?実は、最も奥に見える「6/22」は夏至の頃(今年は 6/21)で、最も手前に見える「12/22」は冬至の頃(今年は 12/22)を表しているよ。そこで正午の太陽の位置を両者で比べると、夏至の頃は南の空頭の上近くの高い位置に、一方冬至の頃は南の空低い位置にあるね。つまり、季節によって太陽の通り道が変わり、影の長さや向きが変化するから、立つ位置が違ってくるんだ。日時計を見たら、季節によって太陽の通り道が変化していることを感じてね! ※太陽を直接見ることは大変危険です。絶対に直接見ないようにしましょう。



ドッシー

MISSION 今年最小の満月を目撃せよ

「今年最小の満月!?満月に大きい、小さいがあるの?」こう感じた人も多いだろう。実際に満月の大きさは毎回違っている。とはいっても月が風船のように膨らんだり、縮んだりして大きく見えたり、小さく見えたりするのではない。では、どうして違うのだろう?君の身の回りで同じものが大きく見えたり、小さく見えたりすることはないか?…気が付いたようだな!答えは君とものとの距離の違いだ。ものが近づけば大きく見え、遠ざかれば小さく見える。実は、満月は毎回地球との距離を変化させている。6月9日の満月は今年地球から最も遠い位置にあるから小さく見える。一方12月4日の満月は今年最も地球に近い位置にあるから大きく見える。両方の満月を同じ倍率で写真に撮り見比べると満月の大きさの変化が実感できるぞ。

月と地球との距離が変化することで
見かけの大きさを変える満月



今年最小の満月
6月9日



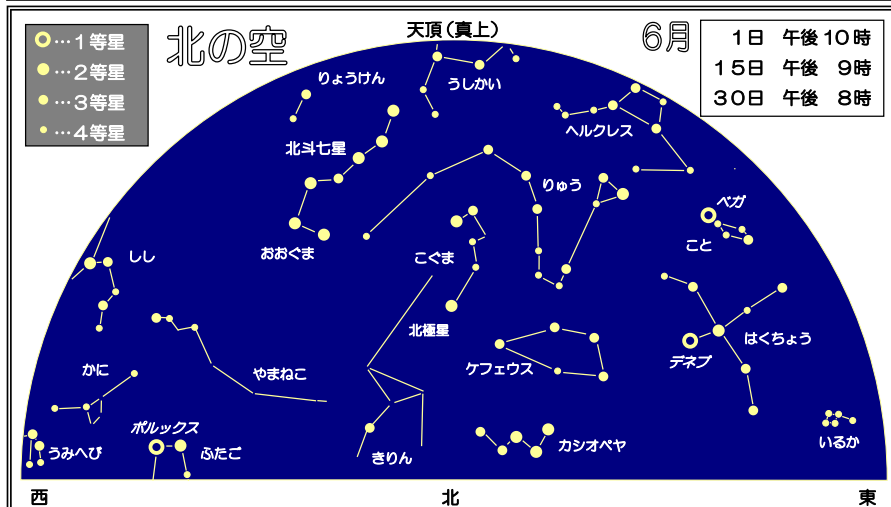
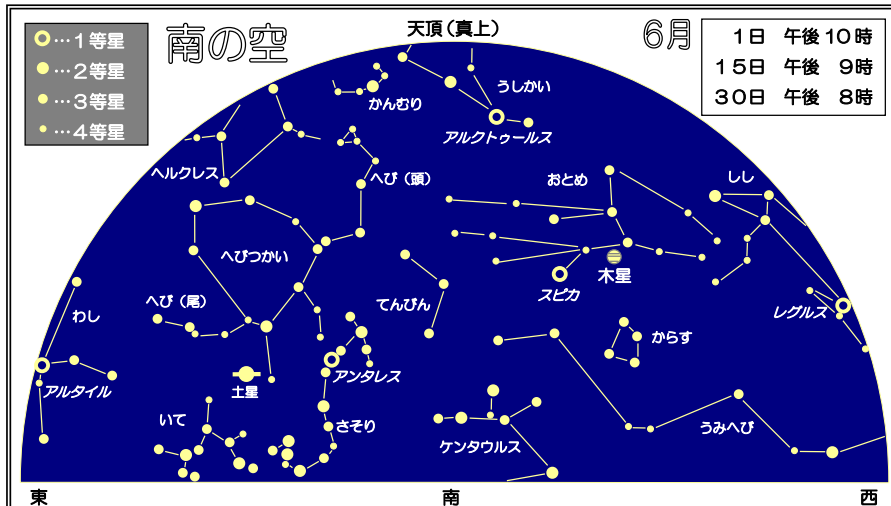
今年最大の満月
12月4日

イメージ図

月の満ち欠け (時間は月が東から出る時刻: 観測地・岐阜市、「一」はその日に月の出がありません)

み かげ	三日月	半月	はんげつ	満月	まんげつ	半月	はんげつ	新月	しんげつ
		(上弦)				(下弦)			
5/28	7:03	6/1	11:17	6/9	18:43	6/17	—	6/24	4:43
6/26	6:51	7/1	12:04	7/9	19:07	7/17	—	7/23	4:29

※日の入り後、月を見るのに適した期間 (5/28~6/11、6/26~7/10)



星空クイズ Q: 天を担ぐアトラスがなった星座は？

うしかい座の1等星アルクトゥールスは日本で昔「麦星」と呼ばれました。「麦秋」と言われる麦の収穫期を迎える初夏の頃、南の空高いところへやってきたアルクトゥールスを仰ぎ見た人々は、麦の収穫期が来たことを知りました。(答え...うしかい座)

うしかい座~天を担ぐアトラス~

うしかい座のモデルはギリシャ神話の神アトラスよ。アトラスはゼウスが率いるオリンポスの神々との戦いに負け、天を担ぐことになったの。ある日勇者ヘルクスが金のリンゴを探しに来たわ。アトラスはこれ幸いと「金のリンゴを取ってくるから、その間天を担ぐ役割を代わってくれ」と提案したの。ヘルクスと代わったアトラスは金のリンゴを取って帰ってきてても、その役割を再び代わろうとしなかったわ。困ったヘルクスは知恵を働かせ、「楽な担ぎ方を教えて欲しい」と言ってアトラスに見本を示させたの。ヘルクスは代わるやいなや金のリンゴをもって行ってしまったわ。



☆☆☆人気キャラクターや美しい映像が楽しめる新番組が始まるよ！☆☆☆

ドラえもん達が地球のふしぎを解明する「ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3 地球のふしぎ」と地球で起こる美しい自然現象をつづる「アースシンフォニー 光と水が奏でる空の物語」が始まるよ！

	11時	12時	13時	14時	15時	16時
平日	※放映時間は各回約 55 分 前半に今夜の星空解説あり。		星空解説& ドラえもん 13:00~		星空解説& 火~木曜日 アースシンフォニー 金曜日 星空タイム 14:30~	星空解説& ドラえもん 16:00~
土曜日 日曜日 祝日	キッズタイム 星空解説& 忍たま乱太郎 10:30~	星を見る会 屋間の 星を見る会	星空解説& ドラえもん 13:00~	星を見る会 屋間の 星を見る会	星空解説& ドラえもん 14:30~	星空解説& アースシンフォニー 16:00~

- 6月27日~7月7日の14:30~は「七夕特別放映」のため通常番組の放映はございません。
- 星空タイムは、毎週金曜日 14:30~のオール生解説のプラネタリウムです。夕暮れから夜明けまでじっくりと星空めぐりをします。

- ☆ 屋間の星を見る会 (11:30~、14:00~、15:30~) 土・日・祝日に屋上天文台にて。
- ☆ 6月10日(土) 19:00~は「星を見る会」。当日 9:30 から整理券配付(定員制)
屋上・天文台で「木星、アルクトゥールス(うしかい座1等星)、ブルケリマ(うしかい座2等星)」などの観察をします。
- ☆ 6月24日(土) 19:00~は「ぎふスターウォッチング」。JR 岐阜駅前にて(事前申込不要)

☆印は天候により天体観望が中止となることがございます。